

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立幸手中学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 クラウド活用による校務DXの推進

クラウドの活用

① ワンドライブの活用

- ・ 行事データや学年会資料のフォルダを担当や学年職員で共有。
- ・ いつでも、どこでも編集・修正が出来る環境を整え、教職員についてはBYODの考え方で校務DXを推進。

② プラットフォーム（チームス）の活用

- ・ 研修会での資料提供、授業に使用する資料等をアップロードし、共有はもちろんのこと、各自のデータとして活用。
- ・ 教科内で振り返り用紙等を共通した様式で活用し、生徒の学習環境を整備。

③ 教育委員会とのシームレスな情報共有

- ・ 必要な情報の提供や共有、修正の実現。

